



# 山階だより

令和2年度  
臨時号

令和2年10月20日  
京都市立山階小学校  
校長 岡 恵子

## 学校評価アンケートから見えてくるもの（前期）

令和2年度は、約2か月の休業から始まりました。6月に入って、分散登校から始まり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながらの、学校再開でした。学校再開に伴い、新しい生活習慣、学習の様子が始まりました。毎日の健康観察、検温、登校してからの手洗い、マスクの着用、ソーシャルディスタンス（3密を避ける）等、安心して元気に登校できるよう保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。2学期に入り、今年度初めての授業参観がありました。それに伴い、ご協力いただきました前期の学校評価アンケート（1年生～6年生までの児童、保護者の皆様、教職員より出していただいたもの）についてお知らせします。この内容はあいあい山階理事会においてもご意見をいただいております。また、10月22日（木）の『あいあい山階』（今回は3密を避けるため、あいあい山階委員・PTA本部・各部委員長・教職員で開催）で、この結果をもとに、学校や地域のこと、家庭のことなど、お話ができればと考えております。よろしく願いいたします。質問は23項目（保護者は24項目）でした。学校でのこと、自分自身のこと、先生のこと、地域での過ごし方、おうちでの過ごし方など多岐にわたっていましたが、その中で、適合度が高かった上位3項目と適合度が低かった項目を紹介して考察します。

### 良い点（できている、だいたいそう思う）

	1・2年児童		3・4・5・6年児童		保護者		教職員	
1	自分はやればでき ると思う。	93 %	交通ルールを守って、 登下校したり、放課後 過ごしたりしている。	96 %	子どもは、明るく前 向きに生活してい る。	97. 4%	興味・関心が高ま るように学習環 境を整備してい る。	100% (79 +21)
2	正しい言葉遣いで はっきり話してい る。	91 %	以前より自分は成長 している。	94 %	子どもは、交通マナ ーを守って登下校 したり、放課後過 ごしたりしている。	97. 1%	子どもは進んで 家庭学習をして いる。	100% (72 +28)
3	・安全に注意して、 登下校したり、放課 後を過ごしたりし ている。 ・どんなこともあき らめず、最後まで頑 張っている。	90 %  90 %	・学級の人たちは、優 しい言葉や励まし の言葉を言っている。 ・教室や廊下はきれい で勉強しやすい。	93 %  93 %	子どもは、楽しい学 校生活を送ってい る。	96. 8%	子どもの言動か ら背景を見るよ うに努力してい る。	100% (70 +30)

○児童については、評価が高かったのが、交通ルールを守っての登下校や放課後の過ごし方である。みまもり隊の皆さんのおかげで、交通安全について意識が向いているととらえてよいだろう。学級の友達がやさしく接してくれたり、先生が話を聞いてくれたりすることで、自分の成長を感じ学校で楽しく過ごしている児童も多い。

考察) 学校生活の中では、先生との関係や友達との関係はほぼ良好といえる。安心できる学習環境の中で、一人一人が頑張り、できることが増えていることが、意欲につながっているように思う。また登下校の交通安全については、毎日のみまもり隊の方々の取組や、保護者の方からの声かけの成果が感じられる。

(学校教育目標)

自ら学び 夢に向かって たくましく生きる子  
～ふるさと山階なかまと共に～

元気に登校・笑顔で下校



評価が低かった点 (あまりそう思わない, 思わない)

項目	1・2年児童		3・4・5・6年児童		保護者		教職員	
	内容	割合	内容	割合	内容	割合	内容	割合
1	PTA や地域の行事に参加している。	44%	すすんで読書をしている。	39%	インターネットに関する情報モラルについて正しい知識を持っている。	55%	子どもは、進んで読書している。	28%
2	自分の考えをよく発表している。	36%	PTA や地域の行事に参加している。	32%	子どもは、自ら課題をもち考え行動している。	38%	基礎・基本の定着を図るため、指導方法を工夫している。	26%
3	おうちで30分ぐらい勉強している。	35%	家の仕事(お手伝い)を進んでしている。	29%	子どもは、家庭で仕事(お手伝い)をしている。	36%	あたたかい仲間関係になるよう授業・学級づくりを進めている。	25%
4	外国の言葉を勉強したいと思う。	26%	家で3年(45分)4年(60分)5年(75分)6年(90分)ぐらい勉強している。	26%	子どもは、進んで家庭学習をしている。	31%	インターネットに関する情報モラルについて正しい知識を持っている。	23%

○児童については、PTAや地域行事への参加はしていないと答えた児童が多かった。また、自分の考えを発表すること、読書や家庭学習をすること、についてもできていないと回答する児童が多かった。保護者については、インターネットに関する情報モラルについての正しい知識について、家での仕事、家庭学習であった。教職員については、児童の基礎学力の定着と、学級での仲間づくりについての項目が低い結果となっている。

考察) 3年生以上になると自分の成長やできるようになったことを含めて、メタ認知ができるようになってくる。読書や家庭学習、体力づくりなど含め、主体的に取り組めるような働きかけが必要である。スマホや携帯電話の利用については、決まりを守って、有効活用ができるよう、学習することの必要性を感じる。日々更新する情報、ゲームや動画サイト等の面白さに引き込まれ、コントロールが効かない、判断ができない状態に陥らないために対策が必要である。放課後や家に帰ってからの過ごし方にも注意が必要である。いつまでも与えられた課題のみでは、学力は伸び悩む。勉強・読書・ゲームはどうなのか、本当に必要なのは何なのかをお家で話し合う必要を感じる。学校では、新しい学習様式での学習指導となり、時間数の確保や学級づくり仲間づくりに苦勞している。こうした状況であるからこそ、児童理解を深め、教職員の組織力を向上させて、実践していくことが必要であると考えている。

前回話題になった、「挨拶」と「学校が楽しい」について (できていないと評価している割合)

項目	あいさつをしている。				学校が楽しい。			
	1, 2年・こすもす	3~6年・こすもす	保護者	教職員	1, 2年・こすもす	3~6年・こすもす	保護者	教職員
R元年度後期	31%	28%	11%	0%	22%	8%	4%	0%
R2年度前期	13%↓	25%↓	11%→	8%↑	24%↑	8%→	3%↓	4%↑

\*お忙しい中アンケートに答えていただきましてありがとうございました。これらの結果をしっかりと受け止め、これからも教職員一同がんばっていきたいと思っています。ご意見やご感想など、さらにお声がありましたら、学校までお知らせください。これからもご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。